

G I G Aスクール構想の実現に向けて

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

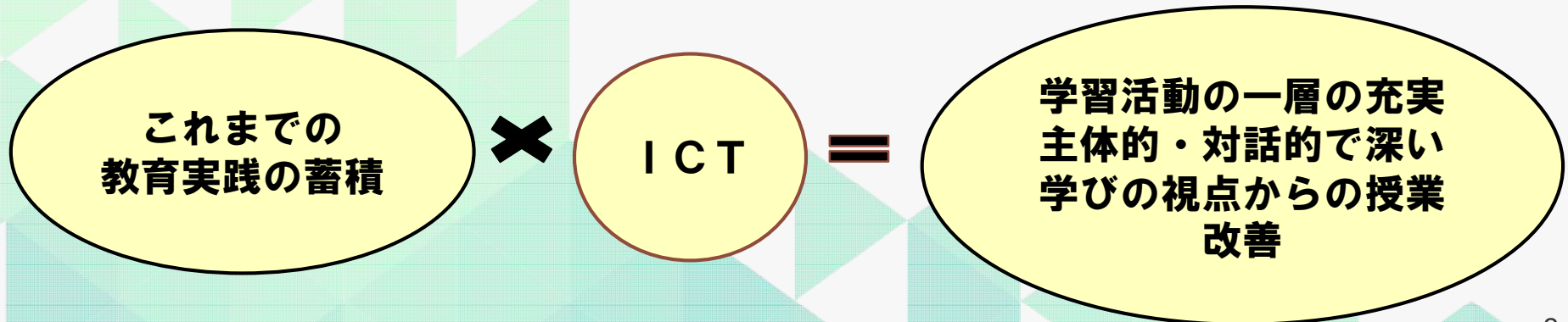
令和2年11月27日（金）

長瀬町総合教育会議

GIGAスクール構想とは

G I G Aとは、「全ての人にグローバルで革新的な入り口を」という意味であり、「誰一人取り残すことなく、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 I C T 環境の実現」を目指す施策であるとされています。

- ・一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 I C T 環境を実現します。
- ・これまで我が国の教育実践と最先端の I C T のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出します。



なぜ今、子どもの学びにテクノロジーが必要なのか

グローバル化が進み、複雑で変化の激しい社会において、子どもたちは、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思いを描く幸せを実現するための「生きる力」を身につける必要があります。

「生きる力」の育成により注力した新学習指導要領において、情報活用能力は、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられています。

そして、情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る、と示されています。

G I G Aスクール構想の実現に向けた整備

校内通信ネットワークの整備

- ・ 長瀬町立小中学校における校内無線LANを整備
- ・ 各学年毎に端末を充電保管する電源キャビネットを整備

- ・ 工期：令和2年8月4日から令和3年1月29日まで
- ・ 契約金額：24,090,000円
- ・ 各学校の体育館にもWi-Fi環境を整備し、災害時には、設定を変更することで、Free Wi-Fiとしても利用可能

一人一台端末の整備

購入台数

- ・ 長瀬第一小学校
台数：242台（予備含む）
- ・ 長瀬第二小学校
台数：71台（予備含む）
- ・ 長瀬中学校
台数：167台（予備含む）

主な仕様

- ・ OS：Google Chrome
- ・ 授業支援ソフト
- ・ タッチペン
- ・ インナーバック
- ・ ヘルプデスク（1年版）
- ・ 設定・キitting作業一式

学びの変容イメージ

「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる

学びの
深化

「1人1台端末」の環境

- 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に

個別学習

- ・全員が同時に同じ学習する
(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)

学びの
転換

- 各人が同時に別々の内容を学習
- 各人の学習履歴が自動的に記録される
→一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に

協働学習

- ・グループ発表なら可能だが、自分独自の意見は発信しにくい
(意見を発表する子が限られる)

- 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有
- 子供同士で双方向の意見交換が可能に
→各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- **調べ学習** 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- **表現・制作** 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- **遠隔教育** 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子どもたちが多様な考えに触れる機会、入院中の子どもと教室をつないだ学び
- **情報モラル教育** 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

上記の例は、国が示した例であるが、長瀬町立小中学校の児童生徒が有効活用するためには、どのような学習方法があるのかを見つけることが重要となる。

端末整備後の活用について

授業支援ソフト《まなびポケット》の活用

- まなびポケットとは、NTTコミュニケーションズ(株)が提供しているコンテンツ -

スクールタクト

全ての学年・教科で活用可能なクラウド型の授業支援システム
国の実証（総務省「先導的教育システム実証事業」）でNo.1の
活用率

e b o a r d
(いーぼーど)

動画とデジタル問題集で、1人1人のつまづきをサポートする
個別学習教材。約2,000本の映像授業、5,000問の問題、動画
と連動したプリント教材が利用可能

B A N S H O T
(バンショット)

教員がタブレット端末等を用いて、写真や動画を中心に簡単に
授業を記録し、他の教員に共有することができる授業記録・共
有サービス

- 他にも、G Suite for Educationといった、時間や場所を問わず、学校全体で共同利用できるクラウド型教育プラットフォームの利用も可能
- 臨時休業などの学校休業中に端末を自宅に持ち帰り、家庭学習や遠隔授業に活用

おわりに

長瀬町の児童生徒にとって、タブレット端末がノートやペンのような「当たり前前の道具」になる日は、すぐそこまで来ています。

そして、今後は学習において、欠かすことができないツールになっていくと考えます。

教育委員会では、児童生徒、そして教員が安心して端末が活用できるよう、引き続き支援をしてまいります。